



「身近な出来事やイラスト」「テーマトーク」募集中!

孫を想う

生協の配達担当者が孫と同じくらいの年齢の子だどいつい笑顔になりま。うちの孫もこんな笑顔で元気良くしているかな?と配達の人を通して思い出しているかな?と配達の人を通して思い出しています。孫も大きくなるとジジ、ババの家へなかなか来てくれません。その子の後ろに孫の様子を見ながら配達の日を楽しみにしています。

金沢市 チヤコ

ありがたい習慣

自粛生活以降、わが家にはありがたい習慣が生まれました。何と旦那さんが料理に目覚め、ランチを作ってくれる

ようになりました。簡単なパスタなどですが、これがなかなかのおいしさ(私と違ってレシピに忠実だからでしょうか?)。ありがたいとう落合シエフ。ありがたいとうYouTube。

小松市 ころーむ



野々市市 おけこ

フリマアプリで

一石二鳥

最近フリマアプリを始めました。始めるときは、家に売れる物なんてないと思っていました。家中見てみると捨てるのもったいないから、なんとなく取っておいた物、いただいたけど自分の趣味に合わない物が、わんさか出てきました。ポイと捨てる勇気はなかったのにフリマアプリに出すとすると手

放す決断が早く、自分でもびっくりしています。家の中も片付きヘソクリもGET。一石二鳥ですね!貯まったお金でプチ旅行に行きたいな!

七尾市子育て真っ最中

テイクアウト天国

今年の5月に出産し、新型コロナウイルスもありませんが、急に泣き出す息子を連れての外出も難しく、息子と家にも生活ができています。しかし、最近はこのお店でもテイクアウトメニューが充実し、家にいながらたくさんのおいしいご飯を食べることができています。もともと食べることが大好きな私は今のテイクアウト天国の時期に生まれてきてくれた息子に感謝です。息子が大きくなり、新型コロナウイルスもおさまったら、一緒にお店まで食べに行けるのを楽しみにしています。

金沢市 ちゅっこ

一番こわいもの

新型コロナウイルスのせいにして、出不精がますます家に閉じこもりがちの半年。おかげで体重がどんどん増え...。とらいあんぐるに掲載の「リフレッシュタイム」の体操をやってみるとつらい、つらい。その上秋の味覚も我慢できず、今私の一番こわいものは体重計です。

志賀町 花子

悟り

サンタさんを信じていました。小学4年生のクリスマスまで...。その夜ウキウキし過ぎていたのかジュースの飲み過ぎか?寝付けずにトイレに起きて布団に入った後、そっとドアが開いた!サンタさん!薄目を開けて見えたのはプレゼントの箱を持った「お父ちゃん」でした。白いおヒゲのおじいさんのはずだったサンタが父親だったと悟った瞬間でした。子ども心にもそれを言っちゃおしまいだと思、次の朝「わーいサンタが来たよ」と話したこと、ほろ苦い、でもあったかい思い出です。

白山市 お月さま

テーマトーク

今月はサンタの思い出

サンタへの手紙

息子がまだ小学生の頃、サンタに手紙を書いて窓に貼っていました。「おかあさんは、おしごとでつかうシャープペンシルのおすところをなくしてこまっています。ぼくはなにもいらないので、おかあさんにシャープペンシルをプレゼントし



金沢市 Kikko

サンタのくしやみ

子どもが幼いときの話です。実父がサンタの服を着てプレゼントを渡してくれていました。ある年、実父がプレゼントを渡すとき、くしやみをしてヒゲが飛んでしまいました。子どもたちは「サンタはじいちゃんやったんか」と大笑い。そんな頃が楽しかったです。12年前に実父が亡く



能美市 M・Y

3年たったら芽が出る?

桃栗三年柿八年といひます。幼かった孫が3年たつたらと楽しみにして畑に栗の実を埋めました。3年どころか一生芽が出ません。なぜならゆでた栗だったからです。今では笑い話になっています。

羽咋市 イナちゃん

上手!上手!

11カ月になる息子が最近ブームなのが拍手!「上手!上手!」という言葉が聞こえるとパチパチと拍手をする姿にとっても癒される毎日です。

加賀市 はっちママ



金沢市 くるみ

マスクあれこれ



機関紙モニターによるエッセイ

書き人 花子

一向に終わる気配のないコロナ禍時代だ。以前、マスク着用者は手術室の医師か顔を知られたくない患者ぐらい。自分は給食当番か歯医者通いのときのみ。それが今はどうだ。畑以外の外出はマスク着用が習慣になり、社会全体にも定着してきた。「目は口ほどに物を言う」とて、メガネに帽子にマスクでは、顔の表情を読み取りにくい。しかも大声を出すなどは...いつまで続くのか...

元来、人はたくましい。この機に商魂かけて便利でさまざまな色、柄、形のマスクが作られ店先に並ぶ。福祉への寄付も聞き、優しさに嬉しくなり、大坂なおみ氏のマスクでの抗議に心を揺さぶられた。私は昔人間。マスクは白い物というイメージから脱却できない。白い手作り布マスクをせっせと洗い使っている。何事も忘れっぽい私たち老夫婦。今日も外出する玄関先でお互いに「マスクかけた?」のかけ声が響く。命を守り合うための合言葉。